【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年9月15日(2022.9.15)

【国際公開番号】WO2020/055733
【公表番号】特表2022-500802(P2022-500802A)
【公表日】令和4年1月4日(2022.1.4)
【出願番号】特願2021-538166(P2021-538166)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｔ　1/00(2006.01)*
*Ｇ０６Ｆ 16/53(2019.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　1/00　２００Ａ
Ｇ０６Ｆ 16/53

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月7日(2022.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置からユーザ識別表示を受信することと、
ストレージ装置に、画像の１つ又は複数の領域を特定する第１の自由形式のユーザ入力によって生成される第１のデータ、及び前記画像の前記１つ又は複数の領域を記述する第２の自由形式のユーザ入力を含む第２のデータを記憶することと、
それぞれの第１のデータが、該第１のデータに関連して記憶される、対応する第２のデータを含むことと、
プロセッサを使用して、前記ユーザ識別表示に少なくとも部分的に基づいて、前記第１のデータ及び前記第２のデータの少なくとも一部分を含むデータセットを選択することと、
前記選択されたデータセットを表示するために提供することと
を含む、方法であって、
前記提供することが、スクリプトに従って表示するための前記データセットを提供することを含み、
前記スクリプトがトレーニング・スクリプトを含み、
前記第２のデータが、前記画像の前記１つ又は複数の領域に表示される物体に関係する技術データを含む、
方法。
【請求項２】
前記提供することが、協働セッションにおいて表示するための前記データセットを、複数の遠隔装置に提供することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記第１の自由形式のユーザ入力が、前記画像の一群の画素を指定し、
前記第２の自由形式のユーザ入力が、英数字の入力、オーディオ入力、及び画像入力のうちの１つ又は複数を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記第１のデータ、前記第２のデータ、及び前記画像のうちの１つ又は複数を、前記装

置から受信することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記ユーザ識別表示が、ユーザ名、役割、及びドメインからなる群から選択される、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
第２のユーザ識別表示を受信することと、
前記第２のユーザ識別表示に基づいて第２のデータセットを選択することと
を含み、
前記第２のデータセットが、第１のデータセットと異なる、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
検索クエリを受信することと、
プロセッサを使用して、少なくとも前記第２のデータに基づいて前記画像を識別することと、
前記画像を含むクエリ結果を提供することと
を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記第２のデータに含まれる１つ又は複数の用語と、１つ又は複数の他の用語とを関連付けることを含み、
前記識別することが、前記１つ又は複数の他の用語を使用して、前記クエリ結果を提供することを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
シーンを示すデータを受信することを含み、
前記選択することが、前記シーンを示す前記データに少なくとも部分的に基づき、
前記提供することが、前記選択されたデータセットを提供して、拡張現実表示内に含めることを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
前記第１のデータを得ることに関連して、前記第２のデータについての１つ又は複数のデータベース属性を作成することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項１１】
前記作成することが、新規に作成されたタイプの第２のデータについて新規の属性を含むように、データベースを動的に拡張することを含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記ユーザ識別表示を前記受信することが、前記ユーザ識別表示を遠隔ユーザ装置から受信することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項１３】
前記遠隔ユーザ装置から、前記第１のデータ及び前記第２のデータを受信することを含む、請求項１２に記載の方法。